

夫木和歌抄

夫木和歌抄

例言

一本書は鎌倉時代藤原長清の撰集に係り、上は萬葉集より古今、後撰以下の勅撰集、下は家集或は歌合等の歌にして證歌となる可き者を採收せるなり、蓋し勅撰集は各其撰歌に標準あり、従ひて採擇に限ありて、此標準に違ふものは如何に雅致ある詠と雖往々撰に入ること能はざる者あり、かの俊賴朝臣の奇歌の如き、西行法師の蝦夷語を使用したる作の如き、古代の言語に泥まず當代の言語其儘を詠出せるの類は皆此例なり、然るに本書は私撰なるを以て煩瑣なる軌範に束縛せらるゝことなく、右等の詠を始め如何なる體の歌をも、隨意に洽博に採收することを得たり、

是最も他の諸集と其撰を異にする所にして、以て當時勅撰集以外の新派者流の面目を覗ふに足る、實に其採集の廣き歌數の多き、且つ各種の歌體を備へて趣味に富みたる、古來の家集撰集中能く是に匹敵するもの無し、是を以て本書は後世文學上種々の例證に引用せられ、爲に座右缺く可からざるものとなれり、始め本書成れる際長清是を携へてその師冷泉爲相卿に檢閲を請ふ、卿是を見て大に悦び、夫木和歌抄と命名せること本書跋文に見えたり、

一 本書作者藤原長清及び撰集の時代に就きては今詳に知り難しと雖、作者部類に五位勝間田遠江守藤原玉葉雜一、一首と見え、其玉葉集雜一、題しらずとありて、

ゑたをきもかつほにいつる夕露に

やとかりそむる秋の三日月

とあり、また本書第三十六、雜部十八に、永仁二年藤原長清が家歌合の歌として、參議爲相卿の詠を載せたるに據り考合はすれば、略ぼ是を察すること難からず、即ち永仁は伏見天皇の年號、玉葉集は花園天皇正和二年伏見上皇の勅によりて撰集せしものなるを以て、長清の本書を撰集せし時代は、伏見天皇の朝、若しくは是を去ること遠からざる頃なるを知る可き也、

一 本書は寛文五年板を底本とし、契冲阿闍梨校本、清水濱臣校本、黒川眞道氏藏古寫本等により校訂せり、

一 本書假名遣は中古一定の法ありしにも係らず、傳寫の際、種々誤りたれば今は總て改訂したり、

明治卅九年十一月

夫木和歌抄目錄

卷第一 春部一

歲内立春(一)

朔日(三)

元日宴(五)

立春(六)

初春(九)

子日(二二)

卯日(二五)

若菜(二六)

白馬(二二)

御齋會(二三)

賭射(二三)

卷第二 春部二

鶯(二五)

霞(三五)

餘寒(四一)

殘雪(四二)

春水(四三)

若草(四四)

春霜(四六)

卷第三 春部三

梅(四七)

柳(五五)

早蕨(六四)

春雨(六七)

稻荷詣(六九)

春日祭(七〇)

遊絲(七一)

春駒(七二)

燕(七五)

卷第四 春部四

花(七六)

遅日(二〇八)

春月(二〇九)

卷第五 春部五

歸鴈(一一一)

春曙(一一七)

野遊(一一八)

春野(一一九)

春海(一二九)

春雜(一二〇)

三月三日(一二二)

桃花(一二三)

雉(一二四)

喚子鳥(一二六)

雲雀(一二九)

苗代(一三〇)

春田(一三三)

蛙(一三三)

卷第六

春部六

一三六

莖菜(一三六)

杜若(一三九)

欸冬(一四一)

藤花(一四六)

躑躅(一五三)

暮春(一五七)

三月盡(一五九)

卷第七

夏部一

一六一

更衣(一六一)

首夏(一六二)

餘花(一六四)

新樹(一六四)

卯花(一六五)

神祭(一七二)

葵(一七二)

賀茂祭(一七五)

早苗(一七六)

五月五日(一八二)

菖蒲附蓬(一八三)

橘(一八六)

花柑子(一九〇)

卷第八

夏部二

一九一

郭公(一九一)

五月雨(二〇六)

照射(二一一)

麥(二一四)

牡丹(二一四)

檮(二一四)

百合(二二五)

鶺鴒(二二六)

水鷄(二一九)

螢(二二〇)

夏神樂(二二六)

夏雜(二二六)

卷第九

夏部三

二二九

夏夜(二三九)

夏月(二三〇)

紫陽草(二三一)

夏草(二三二)

夏野(二三三)

蚊遣火(二三四) 夏衣(二三五) 扇(二三六) 瞿麥(二三七) 瓜(二四一)

夕顔(二四二) 蓮(二四三) 菱(二四五) 夏田(二四六) 夕立(二四六)

蟬(二四八) 茅蝟(二五一) 納涼(二五二) 泉(二五五) 氷室(二五六)

夏鹿(二五八) 夏蟲(二五八) 晚夏(二五九) 荒和祓(二六〇)

卷第十 秋部一 二六六

立秋(二六六) 初秋(二六九) 殘暑(二七二) 七夕(二七三)

卷第十一 秋部二 二八三

萩(二八三) 女郎花(二九二) 薄(二九八) 荳荳(三〇七) 萩(三〇八)

蘭(三二〇) 草香(三二三) 秋花(三二三) 槿花(三一六) 秋野(三一七)

卷第十二 秋部三 三一九

鹿(三一九) 雁(三三七) 秋田(三四四) 稻妻(三五〇) 稻負鳥(三五二)

卷第十三 秋部四 三五三

月(三五三) 駒迎(三六八) 霧(三七〇) 秋風(三七三) 野分(三七五)

秋雨(三七六) 露(三七七) 秋夕(三八一) 秋夜(三八二) 秋雜(三八三)

卷第十四 秋部五 三八五

蟲(三八五)

小鷹狩(三九〇)

鶉(三九一)

鴨(三九四)

擣衣(三九六)

秋霜(四〇二)

葛(四〇三)

菊(四〇六)

秋水(四一五)

卷第十五 秋部六

四一六

秋山(四一六)

蔦(四一七)

柞(四一九)

櫨(四二〇)

檀トウ(四二二)

薜(四二二)

桐(四二二)

紅葉(四二三)

暮秋(四三五)

九月盡(四三七)

卷第十六 冬部一

四三九

初冬(四三九)

時雨(四四一)

落葉(四四四)

殘菊(四五〇)

神無月(四五二)

冬擣衣(四五三)

冬霧(四五三)

枯野(四五四)

霜(四五五)

寒草(四五七)

冬風(四五九)

冬月(四六〇)

冬雨(四六二)

冬夜(四六三)

衾(四六三)

網代(四六四)

冬雜(四六六)

卷第十七 冬部二

四六八

千鳥(四六八)

水鳥(四八〇)

氷(四八八)

霰(四九一)

霰(四九三)

卷第十八 冬部三

四九五

雪(四九五)

野行幸(五〇八)

鷹狩(五〇九)

豐明節會(五一四)

賀茂臨時祭(五一六)

神樂(五一六)

冬梅(五二一)

炭竈(五二一)

佛名(五二三)

爐火(五二四)

歲暮(五二五)

卷第十九 雜部一……………五三〇

天(五三〇) 日(五三一) 星(五三二) 風(五三五) 雷(五四〇)

雲(五四一) 雨(五四五) 滯(五四七) 虹(五四七) 火(五四八)

煙(五五〇) 塵(五五三) 曉(五五四) 朝(五五五) 晝(五五五)

夕(五五六) 夜(五五七) 東(五五八) 西(五五八) 南(五五八)

北(五五九) 巽(五五九) 乾(五五九) 坤(五六〇) 艮(五六〇)

彼岸(五六〇)

卷第二十 雜部二……………五六二

山(五六二)

小倉山に月、松、寺、瀧、里、鹿、野、大井河よめり

音羽山に里、卯花、瀧、櫻よめり

神山に葵、榊、松、花、川よめり

龜山に瀧、松、鶴、山、岩根の宮、すかゝの原よめり

宇津山に蛙手、花、松、葵、薦、庵よめり

大原山に松、炭竈、臈清水よめり

大江山にいく野、あまのほしたてよめり

位山に松、蘭、椎柴よめり

足柄山に關、花、郭公、鷄よめり

佐保山に柞、里、河、鹿、花、鶴、千鳥よめり

忍山に鹿、薄、花、紅葉、里、谷川よめり

卷第二十一 雜部三……………六二八

洞(六二八) 杣(六二九) 嶺(六三一) 根(六三四) 嵩(六三六)

谷(六三七) 岡(六三九) 坂(六四六) 隈(六四八) 路(六四九)

橋(六五四) 關(六六七)

横川橋は山城、山菅橋は下野、佐野の船橋は下野、いなむやの橋、宇治橋、同近江、妹の山背の山によめり

卷第二十二 雜部四……………六七五

野(六七五) 原(六九〇) 林(六九九) 森(七〇〇) 牧(七〇九)

田(七一〇) 畠(七二四) 園(七二四) 畑(七二五) 巖(七一五)

石(七二六) 細砂(七二〇)

むらさ野・近江、うち野・山城、内の大野・大和、うりふ野・山城、ま野・近江、吹上の小野、紀伊、こす野・大和、衣手の小野・山城、あさは野・武蔵、あきつ・山城、あたち野・奥州、あはつ野・近江、さか野・山城、河内、みやき野・奥州、三笠野・大和よめり

卷第二十三 雜部五……………七二二

海(七二一) 湖(七三一) 嶋(七三三) 澳(七四五) 江(七四七)

池(七五三)

卷第二十四 雜部六……………七六三

河(七六三) 淵(七九五) 瀬(七九五) 沼(七九六)

卷第二十五 雜部七.....八〇〇

浦(八〇〇) 鹽竈(八二二) 濱(八二三) 湊(八三三) 瀉(八三七)

泊(八四一)

卷第二十六 雜部八.....八四四

津(八四四) 磯(八四六) 崎(八五〇) 迫門(八五七) 渡(八五八)

岸(八六三) 洲(八六五) 淀(八六六) 瀧(八六七) 澤(八七三)

井(八七五) 温泉(八七九)

洲 八十口洲・奥津洲・中洲・奥州
井 いつみ井・備中、淺香の岩井・奥州、のりの井・とほ井・いさら井・源氏にあり、まつ井・山城、
水 よるへの水(源氏にあり)、水草あるともよめり、野中の水、せきり水

卷第二十七 雜部九.....八八七

鳥(八八八) 鶴(八八九) 鸚鵡(八九五) 鶯(八九六)

鷺(八九七) 鶻(八九九) 鳥(八九九) 鶯(九〇〇) 鶯(九〇二)

鷹(九〇三) 木兔(九〇五) 梟(九〇五) 鶯(九〇九) 鶯(九〇九)

鴉(九〇七) 鳩(九〇八) 鶯(九〇九) 鶯(九〇九) 鶯(九〇九)

鴉(九一〇) 都鳥(九一一) 百舌鳥(九一一) 鶯(九一二) 鶯(九一二)

雀(九一三) 山陵鳥(九一三) 小陵鳥(九一四) 四十唐(九一四) 鶯(九一四)

庭叩(九一五) 鶯(九一五) 鶯(九一五) 鶯(九一五) 鶯(九一五)

都々鳥(九一六)

水乞鳥(九一六)

箱鳥(九一七)

佛法僧(九一七)

龍(九一八)

虬(九一八)

虎(九一八)

熊(九一九)

猪(九二〇)

牛(九二〇)

馬(九二二)

犀(九二五)

猿(九二五)

野干(九二七)

犬(九二七)

兔(九二八)

猫(九二八)

貉(九二九)

鼠(九二九)

玃(九三〇)

龜(九三〇)

貝(九三一)

蝸牛(九三四)

蜻蛉(九三四)

蛛(九三五)

蝶(九三六)

蝙蝠(九三七)

蓑蟲(九三七)

守宮(九三八)

海月(九三八)

海老(九三八)

蟹(九三九)

魚(九三九)

鯉(九四〇)

鮒(九四〇)

鮎(九四一)

鱧(九四一)

鰻(九四二)

鯛(九四二)

鱸(九四三)

卷第二十八 雜部十 植物上……………九四五

草(九四六)

竹(九四七)

篠(九五〇)

藁(九五二)

苔(九五三)

日陰草(九五四)

山橘(九五四)

淺茅(九五五)

茅花(九五七)

蘘(九五七)

鞭草(九五八)

蘆(九五九)

海松(九六二)

藻(九六三)

菰(九六四)

蓬(九六五)

思草(九六六)

忍草(九六七)

忘草(九六七)

百代草(九六七)

白慈草(九六八)

爾許草(九六八)

朮(九六八)

菅(九六九)

萱(九七一)

濱木綿(九七二)

小々妻(九七三)

藍(九七三)

紅(九七三)

紫(九七四)

麻(九七四)

萍(九七五)

淺砂(九七五)

蓼(九七六)

芹(九七六)

水葱(九七七)

母子草(九七七)

駒繫(九七八)

犬子草(九七八)

土筆(九七八)

折敷草(九七八)

鏡草(九七九)

莞草(九七九)

射干(九七九)

莎草(九七九)

芝(九八〇)

山苜(九八〇)

目覺草(九八一)

夕陰草(九八一)

指燒草(九八一)

葎(九八二)

手向草(九八二)

芭蕉(九八三)

莫鳴菜(九八三)

和布(九八三)

卷第二十九 雜部十一 植物下

九八五

太(九八五)

松(九八八)

椿(九九七)

栢(九九八)

桂(九九九)

楸(一〇〇〇)

枝保持(一〇〇一)

榲(一〇〇一)

杉(一〇〇三)

檜(一〇〇四)

梨(一〇〇五)

李(一〇〇六)

杏(一〇〇六)

柏(一〇〇七)

檜(一〇一〇)

椎(一〇一〇)

栗(一〇一一)

槻(一〇一一)

粉(一〇一三)

合法(一〇一三)

檣(一〇一四)

櫻(一〇一五)

妻摩々津間々(一〇一五)

合歡木(一〇一六)

合歡木(一〇一六)

胡桃(一〇一六)

檉(一〇一六)

櫻(一〇一七)

猿滑(一〇一七)

糖(一〇一八)

櫻(一〇一八)

漆(一〇一八)

もちひの木(一〇一八)

黄楊木(一〇一八)

こふし(一〇一八)

ひゝら木(一〇一九)

そはの木(一〇一九)

ねすもち(一〇一九)

こめく(一〇一九)

うはめの木(一〇一九)

ねふの木(一〇一九)

すろの木(一〇二〇)

めつら(一〇二〇)

檜(一〇二〇)

柿(一〇二〇)

桑(一〇二二)

あせみ(一〇二二)

逸師(一〇二二)

檉附樟(一〇二二)

柴(一〇二二)

卷第三十 雜部十二 居所上

一〇二五

國(一〇二五)

禁中(一〇二八)

仙家(一〇三〇)

都(一〇三〇)

故郷(一〇三四)

故宮(一〇三六)

閑居(一〇三八)

窟(一〇三九)

宅(一〇四一)

廬(一〇四一)

屋(一〇四四)

屋形(一〇四七)

隣(一〇四七)

山家(一〇四八)

田家(一〇五二)

卷第三十一 雜部十三 居所下

一〇五四

郡(一〇五四)

里(一〇五五)

村(一〇七五)

市(一〇七八)

驛(一〇八〇)

庭(一〇八〇)

樞(一〇八二)

床(一〇八二)

棟(一〇八二)

窓(一〇八三)

戸(一〇八四)

門(一〇八六)

墻(一〇八七)

籬(一〇九〇)

卷第三十二 雜部十四 雜物上 一〇九二

御調(一〇九二)

酒(一〇九三)

藥(一〇九五)

文(一〇九五)

硯(一〇九七)

筆(一〇九七)

太刀(一〇九八)

刀(一〇九八)

鞘(一〇九九)

弓(一〇九九)

箭(一一〇〇)

行膝ムカハキ(一一〇一)

沓(一一〇二)

杖(一一〇二)

鞠(一一〇三)

蓑(一一〇四)

笠(一一〇四)

琴(一一〇五)

笛(一一〇七)

鼓(一一〇九)

鐘(一一一〇)

卒都婆(一一一三)

金(一一一三)

寶(一一一四)

玉(一一一四)

鏡(一一一七)

枕(一一一九)

鬘イシダマ(一一二二)

蕤(一一二三)

簾(一一二四)

櫛(一一二五)

鬘シヅリ(一一二六)

笥カケ箒(一一二七)

火取(一一二七)

插頭(一一二八)

祓麻(一一二八)

志折(一一二九)

標シヅリ(一一三〇)

卷第三十三 雜部十五 雜物下 一一三二

衣(一一三二)

裳(一一三九)

袴(一一三九)

袋(一一四〇)

紐(一一四〇)

帶(一一四一)

綾(一一四二)

錦(一一四三)

布(一一四四)

綿(一一四五)

絲(一一四五)

機(一一四六)

斤(一一四七)

櫃(一一四七)

車(一一四八)

種水ルヒナリマカス(一一五〇)

筏(一一五一)

舟(一一五三)

梶楫(一一六〇)

碇(一一六一)

綱(一一六一)

繩(一一六二)

緒(一一六三)

網(一一六三)

魚梁イサノ(一一六五)

卷第三十四 雜部十六……………一一六七

神祇(一一六七) 社附宮(一一七九) 釋教(一一八三) 寺(二〇〇)

卷第三十五 雜部十七……………一二〇六

帝王(二〇六)	院(二〇九)	春宮(二〇九)	中宮(二〇九)	親王(二二〇)
將軍(二二〇)	大臣(二二〇)	歌人(二二一)	民(二二一)	翁(二二三)
法師(二二三)	尼(二二四)	優婆塞(二二四)	父(二二四)	稚子(二二五)
未通女(二二六)	鳴子(二二七)	婦人(二二八)	女(二二八)	妹(二二九)
我妹子 <small>ワキモコ</small> (二二九)	妻(二二〇)	使(二二〇)	商人(二二二)	海人(二二三)
夷(二二四)	田子(二二五)	匠(二二五)	遊女(二二五)	遊士(二二六)
傀儡(二二七)	樵夫(二二八)	山老(二二八)	健男 <small>ケンナヲ</small> (二二九)	長(二二九)
賤人(二三〇)	總角(二三〇)	垂髮子(二三一)	奴僕(二三一)	里子(二三二)
唐人(二三三)	楊貴妃(二三三)	李夫人(二三三)	王昭君(二三四)	上陽人(二三四)
陵園妾(二三五)				

卷第三十六 雜部十八 人事……………一二三六

賀(二三六)	大嘗會(二四〇)	元服(二四〇)	行幸(二四一)	公事(二四一)
旅(二四二)	狩獵(二四八)	眺望(二五〇)	哀傷(二五二)	夢(二五四)
戀(二五六)	占(二六一)	言語(二六一)	述懷(二七三)	